



阿賀野市立京ヶ瀬中学校

～ <http://kyogase-jhs.agano.ed.jp/> ～

京ヶ瀬中学校

〒959-2123

阿賀野市姥ヶ橋 739

TEL0250-67-2004

2022-8号

令和4年11月8日発行

いじめ見逃しゼロ重点期（10/25～12/23）の取組について

教 頭 夏 井 徳 治

京ヶ瀬中学校では、「京ヶ瀬中学校いじめ防止学習プログラム」に全校体制で確実に取り組むことにより、いじめ防止の基となる温かい関係を築く能力を育成することを基本方針として、約2か月間、いじめ見逃しゼロ重点期の取組を実施します。

今年度、文部科学省から県教委・市教委を通じて、いじめ対応の更なる強化・改善を図るよう通知が届きました。（1）いじめ問題に対する基本認識を徹底すること（2）どんないじめも見逃さない対応の強化を行うこと（3）犯罪ともいえるべきいじめ問題に係る警察等との積極的連携を図ること、の3つが主な内容です。

当校では、これまでも「いじめは決して特別なことではなく、どの教室でも起こる可能性があり、どの生徒も被害者にも加害者にもなりうる。」との認識のもと、「いじめはしない・させない・許さない」という姿勢で臨み、指導しています。

そして、年間を通じていじめ防止基本方針（学校のホームページに掲載）にのっとり、未然防止・早期発見の手立てとして、毎月你的生活アンケートを実施しています。〔アンケート内容は、1. 学校が楽しいか 2. いじめられていると感じているか 3. 周りにいじめられている人はいるか 4. 心配なことや不安に思っていること等です。〕

今年度のいじめ見逃しゼロ重点期においては、いじめ見逃しゼロに向けた日常的な活動として、①京中の課題解決に向け、全校生徒の考え意見を集約した後にスローガンを作成する。②生徒会総務、各専門委員会、各学年委員会がそれぞれの取組を実施する。③②の活動を紹介・報告する予定です。

また、11月24日(木)には、いじめ見逃しゼロ集会を開催します。第1部で、重点期間中の活動の紹介・報告、第2部では、いじめ見逃しゼロに向けて考えを深める活動として、長岡市教育委員でネットいじめ対応アドバイザーの大久保真紀氏を講師に招聘し、講演会を実施します。講演会では、SNSを介したいじめ・トラブル防止に関する講話を聞き、生徒が自分の思いや行動を振り返る予定です。

○いじめ見逃しゼロ重点期の生活目標

- ・「絆 深めて あったか京中」
- ・3期テストを意識し集中して学習に取り組もう
- ・2学期を振り返り、充実した冬休みになるよう生活設計を立てよう



合唱発表会を終えて

合唱発表会職員実行委員長 片岡 萌子

「できなかったことが、頑張ればできるようになる。」これは、ある生徒の合唱発表会振り返りシートの学んだことに書いてあった言葉です。今回の合唱発表会では、生徒の成長をととても感じることができました。

合唱発表会に向けた練習では、本番でどのように歌を歌いたいのか、聴いているお客さんにどう思ってもらいたいかなどを考えながら、生徒とともに合唱の練習を行ってきました。「歌詞に感情を乗せて伝わるように歌いたい。」と考え、歌詞の意味や発音について工夫を凝らす生徒や「体育館を歌声でいっぱいになりたい。」と思い、強弱や声量の変化を意識する生徒など、それぞれが思いを持って合唱に取り組んでいました。

それぞれのクラスが練習する中で、思うように音程を合わせることができなかつたり、声になかなか出せなかつたりと苦戦する場面がありました。「うまくいかないこと」を「できる」に変えていくにはどうすればよいのかをパートリーダーや指揮者、伴奏者を中心に話し合う姿が放課後練習の後にも見られました。そして、音楽の授業や中間発表で録音・録画したものを見聞きしながら振り返ることでより客観的に意見を述べ合うときもありました。

そして、本番では練習の成果を発揮し、どのクラスも、学年も堂々と歌っていました。歌っている生徒の表情はマスクに隠れていましたが、一人一人がしっかりと歌っていると分かり表情の明るさも感じられました。少しでも歌うことの楽しさや協力することの大切さを感じてもらいたいと思いながら合唱発表会を終えました。素晴らしい歌声をありがとうございました。

